

「放射線副読本」交流会（関西）

8月2日（金）18：15－20：30 大阪市生涯学習センター

（梅田第2ビル5F 第3会議室）

主催：地球救出アクション97、ヒバク反対キャンペーン

連絡：稲岡美奈子 072-336-7201 minako-i@estate.ocn.ne.jp

運動の情報を交流し、当面の作戦を相談しよう。運動を上げよう！

再改訂版「放射線副読本」について学習・批判し、学校や教育委員会、文科省に抗議の活動を行い、市町村議会で取り上げるなどたくさんの自主的な行動が行われています。大阪では少なくとも4つの市で「副読本」は、使うことなく学校に保管されています。政府に向けた撤回署名も賛同団体は70近くになり、全国から署名が届いています。労働組合や生協も取り組んでいます。

「放射線副読本」は福島原発事故被害をなかったことにする！

文科省交渉を行い（3/22）、情報収集を行うなかで、この「副読本」は、安倍政権による福島原発事故の被害者切り捨て、原発再稼働政策の中心的なものの一つであることが分りました。

2017年には国会で政府与党から福島のこどもへのいじめ、風評払拭の対策を要求する質問が何回も出され、「放射線教育」、「副読本の改訂」が要求されました。その結果、東日本大震災復興特別会計から約2億円が支出され、福島復興が進み放射線被害は心配なく、放射線の正しい知識でいじめも風評もなくなるという「放射線副読本」が全国の子どもたちに配布されたのです。その裏では復興庁が専門家を集めた会合で「放射線のホント」のようなものの全戸配布が検討されましたが、費用がかかりすぎるとして、「副読本」が選択されたのです。「副読本」は家族と話し合おうと結んでいます。

「真実と人権を教える教育」、「福島被害者支援・原発ゼロ」を求めよう！

「放射線副読本」は最もひどい学校教育の政治利用です。ウソを教える教育破壊、被ばくを受け入れさせる人権蹂躪です。文科省が進んでやったのでなくとも、これを許すことはできません。子どもたちの教育を守る運動であると同時に福島被害者を守り、原発ゼロをめざす運動でもあります。

今年度も「副読本」が送られてくる！

「副読本」がしっかり使われているかどうか、フォローアップの要求も国会で何度も行われています。そして、2年目の予算として、今年度も、全ての小中高の1年生分の「副読本」が学校に送り付けられます。

第1回署名提出と政府交渉、交流会を夏休み中に

8月29日（木）参議院議員会館

10：30－12：00 復興庁（署名提出と交渉）

13：00－14：30 文科省（署名提出と交渉）

15：00－17：00 交流会（運動の交流と今後の進め方を中心に）

主催：地球救出アクション97、原子力資料情報室ヒバク反対キャンペーン

連絡：稲岡美奈子 072-336-7201 minako-i@estate.ocn.ne.jp

まだ確定していない点もあります